

会場③—5信州大学教育学部附属松本中学校 発表を見た方からの感想

- 生徒自身の考えや先輩達から受け継いだ内容を、自らの課題として地域に根を下ろした活動の今後が期待されます。
- 話合いから活動を決めるのではなく、自分の興味のあることを実際に経験し、そこから活動を決めるというのは新しいと思いました。そこからものづくりグループは廃木材や古紙、古着の再利用、環境グループでは捨て猫やマイボトル、リサイクル、PR グループでは松本の曲や井戸水の PR というようにそれぞれ活動するだけでなく、互いの活動を知りたい、関わりながら活動したいというのは素晴らしいと感じました。1年C組の皆さんには関わり合いを大切に地域、世界とのかかわりを感じながら活動して行ってほしいです。
- 発表ありがとうございました。総合の理念を協力・笑顔・繋とし、夏休みに興味・関心のある活動から、その理念を達成できる活動を選ぶことは、深い学びにできると思いました。また、理念を先に決めていることで、大きな目標もあることから、生徒もゴールが見やすいと思いました。
- 昨今注目度が上がっている SDG s を取り上げ、数ある項目の中でも自分の興味があるものをまとめプレゼンしたり、グループにわけ様々な活動を行うことで、クラス内での理念に向かって進んでいるというのが活動内容として素晴らしいと思いました。
- 課題を子ども達自身が設定するという活動は、興味を持って自主的に深い学びを追究できるように思いました。また、紙の活動を通して、自分たちの本当にやりたいことはなにかを追究できていて素晴らしいと思いました。
- 活動の3年間の見通しを持ちながら生徒の皆さんを中心として探求、学習を深めている様子が進められていることが印象的でした。ものづくり、PR、環境とそれぞれのグループが独立して活動を進めているんだなと最初は思いましたが、お互いの活動を体験することで魅力や共通点を探し2年次への活動へつなげると聞いて、それぞれのグループの活動の魅力を活かしつつクラス全体での活動も2年次では展開されるのだなと想像すると皆さんがどのような活動につなげていくのかとても楽しみになりました。発表ありがとうございました。
- 信州大学教育学部附属学校には、教育実習でもお世話になったが、そこでも感じた通り、自主性や思考力が存分に発揮された内容だったように思う。教師任せにするのではなく、自分達でサイクルを回していく様子が画面越しからも伝わってくるような発表であり、改めて感心した。
- 生徒たちの「やりたい！」という想いや願いを積極的に取り入れられている実践に感心させられました。今回の発表では写真しか見れていませんが、生徒たちの熱意や笑顔が容易く想像できる気がします。また、ただ好きなことを楽しんで終わりではなく、好きなことを通してリサイクルや環境保護などを行っていることがとても素晴らしいと感じました。その他の環境グループ、PR グループのこれからの活動もとても気になりました。応援しています！

- 総合理念を基に、3年間打ち込む活動を決めるという手法が興味深かったです。他学級や他学年のものも気になります。活動内容も生徒自身が体験して決定するというをすることで、実践をやり続けることができると考えました。資源の再利用には多くの可能性があります。今後の追求も頑張ってください。
- SDGsに関連する取り組みを年間を通して幅広く行っていることが非常に印象的でした。子どもたちが実際に自主的に考え、体験して興味を持ったことについて、クラスの仲間がそれに賛同し、実践に取り組んでいたことが非常に魅力的でした。また、バラバラの活動ではなく、それを重ねていきたいという子どもたちの願いから、彼らの仲間意識や協調性を感じることができました。
- 学級総合でどんな活動をするか、ということに対して理念から学級で話し合い決めていく過程に1年C組の皆さんの気概を感じました。話し合いから生まれた理念が、活動によって生まれたものにしっかりと反映されているところが素晴らしいなと思いました。
- 子ども達のうちから総合理念を決め、それを目指していくところが面白いと感じました。また、いくつかのグループに分かれて学習することで、子ども達にとって取り組みやすいことから始められるし、他のグループの活動を体験することで、自分が所属しているグループ以外の視点も持つことができるので、良いと感じました。
- 廃木材から箸やベンチなど生活でもよく使われているものに加工していくという考え方が素晴らしいと思いました。私自身ものづくり技術教育コースに所属しているので私も授業の題材としてこれが扱えないものかと考えてしまいました。それぐらい魅力的な活動です。
- 私がこの実践を見てすごいなあと感じたことは、総合的な学習の時間の活動をおこなう前に子どもたちに総合的な学習の時間で何を学ぶのか、何を目標とするのかしっかり考える期間を設けたことです。生徒たちを信頼し、教師が生徒の芽生えを待てるからこそ、子どもたち自身で学習目標を設定することができたのだなと感じました。
- 子どもたちが個々にやりたいことを見つけそれを行う活動から、学級としての活動にしていくためにそれぞれの活動を体験していく中で、子どもたちが他の活動の良さを見つけているのが良いなと感じました。これから他の活動を体験していく中で、子どもたちがそれぞれの良さや自分たちの活動との共通点を見つけていき、学級としての活動のどのように展開していくのか気になりました。これからも活動を頑張ってください。
- まず、活動の決定の際に、「興味・関心」もあるものでなく、「実際に経験したこと」を決定の重きに置いていることに感心した。また、取り組みとして「ものづくり」「環境」「PR」のグループに分かれて「協力・笑顔・繋」が達成できそうな活動を決めて、これらを1つ1つで考えるのではなく関連づけ、共通点を見出すことが素晴らしいと思った。互いの研究を互いに紹介する。この発見と反応は今後重要になると思います。
- リサイクルやマイボトルなどは環境という点で見た時に真っ先にあげることが多いけれど、捨て猫に着目するというのは思いつきませんでした。また、PRの活動はとてもいい活動だなと思いました。それぞれの活動自体良いものですが、三つの分野が重なる部分を探究していこうとする意欲に感動！

- 年間を通して様々な活動を行っているのが凄いなと思いました。また、グループごとの活動にとどまらず、それぞれで得たことを共有し学級でひとつの目標を定めようとしているのが良いと思いました。学級という集団を上手く生かし、活動に取り組んでいるのが凄いなと思いました
- 普通なら捨ててしまうものを少し形を変えて使えるようにすることはとても素敵な事だと思います。ものづくりグループ、環境グループ、PR グループはそれぞれ別のことをしているがどこか1つで重なる部分があり、お互いに協力することでもっと大きなことができると思いました。
- 年間を通して、自分たちの暮らす地域の自然や環境に興味関心を持ち生活をしていくという姿勢が素晴らしいなと感じました。プレゼンを聞き、「協力・笑顔・繋」を達成するために、ものづくり、環境、PR という3つの分野で活動を行い、3つの分野が重なる和紙作りへと発展させていったことに感心させられました。これからも皆さんが、自分たちの暮らす地域の自然や環境に関心を持ち、それらを保全、維持をしていくことを応援しています！
- 先輩たちの取り組みから、自分たちの目標を決めたり、話し合うのではなく、一人一人が興味をもったことから決めたりしたと聞き、大変なこともあったと思いますが、楽しく活動できたのではないかなと思いました。また、班別で活動を行うことと、別の班の体験を行うことで、より自分たちの学びを深められたのではないかなと感じました。皆さん、環境に真摯に向き合い、ひとつでも多くの体験をしようという意欲が感じられ、発表を聞いていて、楽しかったと同時に、私も皆さんと一緒に活動を行いたいと感じました。とても楽しい発表をありがとうございました。
- 廃材や古紙、古着などを利用し新しいものが作れるように、普段は捨ててしまうようなものの中にもまだ使えたり、作り変えたりできるものがあると思います。今回の経験を通し、新たに目を向けてみるのもいいかもしれません。松本のPRとして井戸に注目していたと思います。年配の方が水をくむのに苦労していることから、ベンチを置くなどの工夫はいいと思いました。また井戸を利用している方は年配の方が多く、若い人が利用しているところを私はあまり見たことがありません。若者の利用者を増やす工夫も考えてみてはどうでしょうか。
- 3つのグループに分かれ様々な活動を行う事は、たくさんの経験をする事が出来るため、とても良い事であると考えました。また、これからの活動の役に立つため、実際に活動してみて気づいた課題を明確にしている事が素晴らしいと思いました。これから色々な活動を組み合わせて、皆さんだけの特別な活動が出来るようになっていけたらいいなと感じます。ありがとうございました。
- 話し合いを重ねて行動理念を決めて、それからどのような活動を行っていこうかと考えているところに、計画性を持ち、ぶれない活動を行おうという意味が感じられ、皆さんの熱意が伝わりました。私も参加してみたいなあと感じてしまいました。とても良い発表でした。ありがとうございました。
- 梅の収穫、ボランティア、ベルマークや松本城清掃といった様々な活動を学校で行っていることに非常に驚きました。また、志賀高原での学習から、一人一人プレゼンテーションをして、「環境」、「ものづくり」、「PR」の3グループに分かれて活動し、また、その活動を共有するといった、今後の活動まで考えて行動していることがすばらしいと思います。

- SDGs等に注目すると、人のため社会のためという意識に向きがちであるが、自分たちの楽しみ、幸福感も大切にしたいというその願いが反映された実践が魅力的だった。実践のそれぞれに「つながり」が意識され、目標に向かって前進していることが感じられた。特に、夏休みに自分たちが取り組んでみたいことに挑戦し友達と共有し、授業に結びついていく実践は、家庭学習や長期休みの課題等に対する考え方が見直されるきっかけとなった。ありがとうございました。